

Publication Number: 2001-202340

Application Number: 2000-161006

Applicant: SEIKO EPSON CORPORATION

Date of filing: May 30, 2000

Inventor: SHIRAIISHI ATSUSHI, TSUJI KEISUKE, TANIGAWA KENJI, ROY NAKASHIMA

[Title of the Invention]

DISPLAY DEVICE, PORTABLE INFORMATION PROCESSOR, INFORMATION RECORDING MEDIUM AND ELECTRONIC EQUIPMENT

[Abstract]

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a display device, a portable information processor, an information recording medium and electronic equipment, with which operation is facilitated and the relation of time with the other information can be visually easily grasped when programming plural kinds of information into a schedule.

SOLUTION: This display device is provided for displaying a plurality of types of pieces of information on a display screen. The device has a first storage means for storing the plurality of types of pieces of information with different attributes, a plurality of types of attribute pieces of information for identifying the types of information of the plurality of types of pieces of information and a plurality of time pieces of information related to the plurality of types of pieces of information, second storage means for storing a plurality of types of icon information corresponding to each of the plurality of types of attribute pieces of information and time base data for displaying a time base, display means for displaying the time base and the icon information on the display screen at least and further control means for selecting the icon information corresponding to each of the attributes of the plurality of types of pieces of information on the basis of the attribute information and controlling the display on the display screen so as to respectively dispose the selected icon information at a corresponding time on the time base on the basis of the time information related to plurality of types of pieces of information.

トのアイコンをクリックして、プログラムを起動させ、電子メールの閲覧表示を開始するが、電子メールが閲覧できるウインドウ上に、重なるようにしてスケジュールソフトのウインドウを開いて、予定等の入力を何枚かのこととせよ。

【0043】しかし、この場合には、電子メールソフトと、スケジュール管理ソフトとは全く別々のアプリケーションであるため、ファイル形式等種々の要因によりユーザーが電子メールに関する情報を、スケジュールにそのままの形で組み込むとはできない。

【0014】また、組合は組合には、電子メールに関してその情報開示は時間、通信内容等を、ユーザーが一つスケジュールのカレンダーに入力しなければならず、手間がかかるという問題がある。

「EOP15」として、P16Aでは、表示画面の最上段のP16の値が小さくともしたときに、同一セグメントを重複に印刷、消したくともした。アイコンが小さくても、何れも示しているのか、その機能は解りづらいという問題点があった。また、フォント表示が揃っていても、文字の長さが異なり、その問題点が起きた。このように、表示面の解像度をそのまま受けて、キャラクタのフォントの大きさが異なると、表示画面がユーザーに認識できなくな

「100%」は、100と同じ数値を表示し、必ずしも、アイコンサイズ及びフォントサイズを小さく表示しなくてはならぬわけではない。画面サイズのつぎの解像度とコンピュータや電卓機種等においては特に重要な点となっている。例えば、日本語の表示は24×24ドット以上のフォントが必要で、表示画面の割増しで、このフォントサイズを確保でき、実用なものは数多くあ

「パスワード」または「暗号は暗号化して保存する」ということが1984年8月の標準化委員会で、メタファの根拠となるオブジェクトであるアイコンに暗号化を暗示するための図形表現を添付し、ユーザーの記憶負荷を軽減している。しかし、このような暗号化では、アイコンにキーワードの記号といった新語を付加するだけの、暗号化された暗号やキーワードを理解できないユーザーに対しては有効である。正確な暗号を持たないユーザは、暗号されたキーワードの記号を記憶する負担が大きい。操作負担も重くなる。しかも、文字が覚えにくく、PDAには適用できない。

【0048】このような装置では、予備知識を持たないユーザーに対して情報を理解するための新たなキーボードや記号を記憶する負担がかかったり、付加された説明を読むこと自体が煩雑で、操作効率が低下するという問題点がある。

【0019】また、例えば特開平9-28457号等のようなアイコンを表示することが考えられるが、そのような通常のアイコンの表示態様では、ユーザが所望の機能を表示されている複数のアイコンの中から選択するた

例には、従来のアイコンの図柄及び機能名称のみによって、所望の機能がとどこであるかを判断するだけでなく、また、各アイコンに付する機能が何であるか、所望のアイコンがどこに配置されているかなどを覚えていた観覧者にとっては、各々のアイコンをマトリクス状に表示して

いろいろなアイコンや希望のアイコンを選択できたが、初心者にとっては各アイコンが対応している教団自体を理解するまでに時間がかかり、また希望の標識が対応しているアイコンは画面上のどこに配置されているのかわからなくて、混乱を招き易いといった問題もあった。

「2006」年には、FPGAでは、表示部のディスプレイが一般的に小さい。遷移することによって起動する機能は何であるかがわかりづらく、また、個々のディスプレイが小さく選択しにくいといった問題があった。

「CD-ROM」を説明し、上記の「技術」の図解を解説する
たのになぜともであり、その目的とするところは、
複数種類の情報のアクセスに迅速な場合に於いて
操作し易く、他の技術との明確な相違を強調し、容易に
把握することのできる表示画面及び映像情報処理装置
及び情報記憶装置及び電子機器を提供することにある。

【O.R.】また、本発明の他の目的は、検査装置のような小型の病院処置室においてもアイコンに対応して結びつけられている機能を含むに理解することのできる表示装置及び汎用型病院処置室並びに病院記録媒体及び電子機器を提供することにある。

[illegible]

「ED024」請求書1頁記載の欄目において、「属性情報」とは、属性情報の登録時に電子メール用ファイル、Xを用ファイル、スプレッドシート用ファイル、テキストファイル等の種類を識別するための所載である。この「属性情報」の一環として、例えばファイルとスプレッドシートにおけるファイル形式を識別する拡張子等の挙げられるが、請求書2頁では、これらに限定されるものではない。

60-5

「C0164」アイコンは、機能の取り分けられている場合には、これに対するアイコンとして数値の表示を省略し、そのギャラウズが表示される。これにより、ユーザは、各アイコンに割り付けられた機能を直接的に意味に判断することができ、かつ、表示される画面の内容に
 対して、操作部に押し付けられる機能を容易に把握するよう配慮がなされている。

[illegible]

【0105】コミュニケーション表示エリア70:88
には、FCIから自契約に請求額が2626円送付されるを指
の電子メール等の伝書地アイコン3.3Aが右作例に並列
配置されて表示される。

[illegible]

【0.108】ここで、電子メールが辨別装置21に受信した場合には、情報告知のために、音声出力部から音声により告知すると共に、表示部23においても電子メールのダイジェスト、告知用画面24が、メイン画面上に別表示される。

【0109】また、この発信は、音声でユーザに知らせる他、音色、振動、におい、光、電気ショック等で病状を知らせることもできる。この発信には、音色を更に細かく

図 1 振動制御手段：におい制御手段、光量・光色制御手段、電圧制御手段と各出力手段が設けられることが好ましい。また、この告知は、ユーザーの状況に応じた告知の発令に、強弱をつけるように構成しても良い。

【b110】尚、伝言場アイコン3は、その形状や色によって特有の属性が割り当てられている。例えば黒の伝言場アイコンは、電子メールの中身・内容、伝言事項が緊急の情報であることを意味し、白の伝言場アイコン3Cは、電子メールの内容が非緊急事項であることを表

晴る。また、熟睡アノコノ子ノ日は、ホノスミールを
着せる。

(1) (1) (1) また、組合印に示すように、花がらつぎの
をふりまきつけると同時に、その花柄、即ち、メロ
スカーフの特色が転写されたウィンドウが画面に表
現され、さらに操作すると、図(1)に示すように、手書きの
メモが記録されたカード・ボード形状のウィンドウで表示さ
れる。このディスプレイはスクリーンと、近接ディスプレイの表示位置は表示範囲上に一致して表示さ
れる。

【ロケ予定】とあるアイコロンBのたむけらの表紙は、水戸
内務省のウォールパペー（壁紙）に模倣して完成しており、花
びらの数がおなじく、情報量によりてその変容する。さらに、
花びらにアイコロンBとあり、表紙模倣の異なるアイコロンB
1（赤）B2（青）をアイズメツと表現している。このように
しただけでは、相対はデータ系、生産系、製品系、製品系
を「アイコロン」の大きさ、色、形、動き、点線等を表す
ことに依り、アイコロンBの持つ意味を付加し、アイズメツ
をデータ系に表現した上で表している。

「TO T」スラッシュ表示エリヤに換。時、日、週、月の各名詞の相前後を各々有するモードで利用可能に形成される。次に、曜日Aに示すように、スラッシュ表示エリヤを結合すること、スラッシュエリヤ(「TO T」)表示モードになると、スラッシュ表示エリヤが他の各エリヤに対して読み出し、後のコミュニケーションモード表示エリヤの「TO T」で、データベース表示エリヤの「TO T」が読み出し表示される。

【01:14】このスケジュール表示モードでは、先ず時間軸が秒単位で下方に表示され、この時間軸に対してスケジュールのリスト出力を行なうためのスケジュールアイゴン20が貼付け表示されている。このスケジュールアイゴン20には、その内容の概観を示したフェントも付随して表示される。

【06・7】また、両国館98Aは、毎朝目上の予定で
無表示エリザベス嬢を乗せしており、この予定は無常な事だ
といふ中への言葉裏面を書きを示すようにして、同時に
本文に入力されていく見一目で解るようになる。これは、
このようである。表示画面には、お父又は弟が持っ
た表示カードとその時点での時間経過において表示カー
ドの内容を確認管理できる。これにより、複雑なデータ情
報をもっと簡単にキープして容易に検索するの。データを
を保持しある情報量上に移動することでも、それがユー
ズにも活用することになる。

【Q1-16】さらに、現在時刻を境線として、過去を示す矢印は95%をしめし示すことで、現在時刻の子が入っている範囲が10%しかないのか、例に予定は過去のものとなったのが将をユーガーが複眼的に認識できる。本例では、時間軸の表現、過去と未来とを表現色（又は色相）で識別することが出来る。現在の位置は、異なる表色色の塊で表現する。これにより、表

... ..

情報へのヘッダ部には送信時間に関する送信時刻情報を含む。従って、制御手段は、送信時刻情報に基づいて、アイコン情報を表示画面上に送信順に表示処理する。

【0156】複数種類の情報に、操作入力されるメモ情報である場合には、メモ情報のヘッダ部には操作入力された入力時間情報を与える。ここで、制御手段210は、入力時間情報に基づいて、アイコン情報と表示画面に付与される表示処理する。

【ロイ67】指定時間の情報がない場合、今日のリストである場合には、ページ画面上にユーザーが予定実行時間を指定した指定時間情報をもつて、在庫手段2110は、指定時間情報に基づいて、アイコン2120を表示画面上に予定時間順に表示処理する。

【0168】このように、本発明の表示装置は、第1の記憶手段、第2の記憶手段、表示手段、制御手段を有する。

【図15】(2)ニューロンの表示処理 本例の表示画面の一例を示す図である。前記と同様に、前記表示画面は窓のタイトルとして表示され、表示画面の中のオブジェクトは、グラフィックジョブプログラムの動作を指示する次の各書式データによりリアルタイムで描かれる。ここで、右側部表示エリアは、電子メールの宛先、件名、送信方向、日付と時刻と表示される。右側部表示エリアは、電子メールの宛先と時刻とを解読する。そして、件名と宛先と時刻とを口は、この動作結果をファイルサイズと表示する。宛先と時刻と送信方向は、ファイルサイズにより異なる。他のファイルサイズ表示の例を次に示す。

【0170】ユーザは、操作部24で選択（ポイント）
ンが操作することにより、これらのオブジェクトを操
作可能である。

【図171】伝書鳩アイコンをクリックした場合に
は、対応するアプリケーション（電子メール関連ソフト
ウェア）が起動され、アプリケーションの表示ウィンドウ

(下位メニュー、下位の指示画面)が表示される。

[illegible]

【04.7.3】キャラクター&制御部25日は、チーフ
処理部23日からこの実行結果を受け取り、メタフォル
ム書庫部等に蓄積させているルール(アプリケーション)

シ動機に依るべし。凡そ、後述に対応する画面を表示し、制
止ポイントより、制御部より発生する位置にフィード
バック表示部へ表示する。運動量表示部25には、この
指示により動作が生ずる表示、特に動作は発生表示
制御部25より出力する。表示制御部25には、この動
作の発生位置に依って、発生する表示モード（アバリ
エーション）（動作位置）を発生して表示画面を形成し、
表示部28に出力する。このようにして、ユーザが所
定のアバリエーションを選択した結果として、アバリ
エーションが実行される。

の「イタナ」アザリガッシュの実行中は、カーネルにより表示画面のリストボックスとアドレスボックスのオブジェクトを凍結する一方で、アザリガッシュへのデータのやり取り、処理等画面内のオブジェクトを凍結し、処理の指示を行なう。アザリガッシュの実行終了後、また、ウィンドウが閉じ、起動時の状態のメニュー画面に戻る。これにより、内容や状況の詳細が画面表示され、アザリガッシュの演算や実行等の様子がユーザに視覚的に表示される。

「プロテクト」さらに、著作権24年、受け取った新しい権利以ては、以後のユーザーの複製権は認められず（アプリケーションソフト）を主とする。このデータは、同じく、テープ録音で600万枚あり、アプリケーションソフトの入力カードとして知られる。その結果は、フォントデータは複製されてはならない。フォントデータを再出力し、画像を生成する2つの動作は「表示画面」を発生して、表示制御部200を介して表示部20の表示装置を駆動する。

「ロイヤル」ユーザーがアプリアクションを終了する入
力を行うと、同時にその表示画面上でデータの消去が起
動される。サイン・アウトの時は、空のメダラ画面（ス
タート画面）に戻る。表示利権表示時には、画面最上段
までの変更された動作が空を受け取り、キャラクタを表
示（空はイメージ変更や移動等）して表示部の中心に出
る。このように操作して、その実行状態を視覚的にユ
ーザーに示す。

【O「ア」】のように、空のメタ言語によって統一された媒体世界を提示することにより、アプリケーションの実行内容が概念的に理解し易く、ユーザーが自然に与えられる刺激だけで表示内容や動作が容易に理解できる。

[illegible]

[illegible][illegible]

・1ヵ月間の管理職を有する。病先リスト中管理職は、病先リストを初期化する病先リスト初期化処理部と、新規に病先を追加する病先リスト追加処理部と、病先を削除する病先リスト削除処理部を有する。

【01-90】尚、P.O.面では、電子メールシステムにおける表示画面を図6のように構成しており、このため、表示画面ウィンドウ34には、例えば会社名34a、タイトル34b、会名34c、会社の住所34d、会社の電話番号34e、会社のFAX番号34f、自宅の電話番号34g、自宅の電子メールアドレス34h、Eメール34iを含む表示メッセージが送られてくる。

【図1-9-1】「データ構造」ここで、上記のようなウィンドウ表示を行うために、記憶部24内のデータを標準242内のマールデータ格納部242Aに格納されて、プログラムで使用するデータ格納について説明する。図1-9は、マールデータ格納部242Aの格納されるデータの格納構造を示したものである。

【01702】読者部には、管理プログラムが格納されるロッド・ロール部22A、電子メール関連プログラムF1を含む各種アプリケーションプログラムF1～F9、上記App1、2を含むソフトウェアプログラム、キャラクタデータ22A・22B、音声取得・フロントデータ22Cを含む各種データ格納部22と、各データ格納部22に接続す

【0149】この記憶装置により、表示画像を生成するための情報を少なくとも格納するための本発明の情報記憶装置を構成する場合には、少なくとも図14に示す各種情報を有してよい。

[illegible]

【0195】データ管理部220には、X-1データ格納部220A、X-2データ格納部220B、データアクセスデータ格納部220C、…等を有する。

【01455】メールデータ格納部220Aは、複数のファイル221により構成され、1つのファイルには、ヘッダ部220A-1、データ部220A-2、フッタ部220A-3があり、メールの内容性に関するデータ部220A-2が形成される。ヘッダ部220A-1には、ヘッダ1(220A-1-1)として送信元、宛先と、128ビ

DA-2) としスフェールライズ、ヘキサ-2 (220A-3) として名前 (1) の2つの情報格納される。
 (1) (97) 1-1 ルネード格納部220Aは、第2情報
 2) に示した表面ウィンドウ内に表示される半ノードに対

は、フキアワリ文字、表示日時、前ページID、著作者の
 氏名表示（又は格文字）のビットマップデータ、表示画
 素の表示位置、表示画の大きさ、印刷日時、印刷日時、メ
 ール表示ウィンドウの表示位置、メール表示ウィンドウ
 の大きさ、メール表示ウィンドウ下部の時刻表示位置、
 時刻表示領域の大きさ、時刻表示文字の大きさ、メール

「データ」(データ本体)と「活字」(リスト)の両方とも、**「活字情報」**(活字種別、活字サイズ等)のリスト、並びに、**「アイコン」**へのポインタ、**「コンテキスト」**のポインタを有して構成される。尚、本明細では、**「データ」**(データ本体)以外の部分の内部構造を論じない。簡易な例から、**「データ」**と**「活字」**とより、上した**「ページ」**の構成(図42)では、

【01/09/98】 この他、各種テーブルとして、**＜ユーザ表示用＞**のウィンドウ管理テーブル、**郵便先名簿管理**テーブル、等を有することが好ましい。

【01/09/98】 ここで、名称（K10）は、各ユーザの識別子であり、通常、識別子にはユーザの氏名、ニックネ

[illegible]

受信者が、宛先リストを照会可能である否が、又は、当該受信者が不在に否かを示すフラグが設定される。表示座標及び大きさには、データ構造に対応するワードに示す文字列、アイコン等を表示する表示ウィンドウ内の座標、文字列、アイコン等の大きさが設定される。アイコン等のサイズには、表示ウィンドウのサイズをデータ構造に指定するワードに示すアイコンのイメージ

「画像情報・キャラクタデータ」が格納されている領域へのポインタが設定される。コメントには、入力したコメントが格納される。尚、これらのエントリの数を可変に拡張しても良い。

【0200】ウィンドウ管理テーブルは、各ウィンドウ群を画面面上に表示するためのデータセットの集まりであり、記憶部に格納される。ウィンドウ管理テーブルには、ウィンドウ名、ウィンドウの座標、ピクセル数で表されるウィンドウの横幅及び高さの各項目を有し、

「(イ)の定式」を、時間軸表示エリファントグラフに、イがジョー・アルフィニョが4分11秒前に、時間軸上の位置を、黄色色表示する予定時間表示エリファントグラフとして形成している。図333では、イがジョー・アルフィニョが4分11秒から、12時にまで書いて形成されているので、予定時間表示エリファントグラフにおいて、イが4分11秒から黄色表示して、時間軸上の位置の予定時間と一致であるように形成している。このようにすると、ユーザは、黄色の順順に現在の予定時間表示と、その予定

【05月5日】アイコン表示に2段階では、ボイスメモを登録したことを表すマイアアイコン35.2と、電子メールにメッセージを受けたことを示す判別アイコン35.4とが表示されている。これらの各アイコンを、サブメニューアイコン35.5と同様に操作することで、下位メニューのボイスメモの登録、電子メールの開封などができる。

7月25日、26日、27日の3日間をそれぞれ、スケジュール表示モードの2日間、3日間、4日間のモードに切り替え、それぞれ1枚に各スケジュール（仮定表示）が3枚、4枚、5枚、6枚表示されるように設定されている。また、各スケジュールの表示を切り替えることで、ホーム画面（時計表示）を行きどくことができる。図23の日は、6時間モードを示しており、図24のAでは、2時間モード、図25の日では、1時間モードを示している。

「0250」番2-Aにおいて、カーソルボタン301-Aを押下すること、スクリーン101-A表示部でがタメをモードに切り替わる。即ち、カーソルボタン301-Aの押下操作により、図2-Aに示すように、右側表示エリア303-Aがアイコノエリア305-Aにまで下方にスクロールする。そして、カーソルボタン301-Aを押下した状態でも、所望のモードの位置まで移動させる。マイク・アイコン305-Aの位置にまで移動させたならば、タメスキャン部301-Bを押下すること、図2-Bに示す音声出力部302-Bより聞取部304-Aに送る。

[illegible]

「100002」では、国名「A」に示すように、フランス、
「10000002」では国名無しである。モードを切り
換えることが、両利きです。元々の「10000001」
F（スクロール表示モード）になることが出来る。
「10000002」では、国名「A」に示すようにフランス、
「10000001」では切り替える。ここで、データー・ブ
ードにおいては、4つのカテゴリー「definite」「Vend
er」「Person」「setting」が示されている。第
「setting」モードは、短期間のみ、各種の調整を行う
ためのモードである。

[illegible]

【00266】そして、サブスクリプション日の操作により、図60(c)に示すように変更される情報を開示できる。その他、カードリビジョン303の画面又は下層画面により、図60(c)のカード番号と平均値に移動させることで、スクロールさせ、所望の情報を探すことができる。

「ロギン」また、電子メールを受け取ると、図25の
に示すよう、告知ウィンドウが表示される。この告知
ウィンドウには、発信者の氏名、発信番号、発信時刻
を表示することが出来る。

【0268】なお、上記の状態でない場合には、発報通知は行われず、自動的に待機アイコン364の貼り付けが行われ、非でユーザは、当該アイコン364を選択することにより、内容を閲覧できる。

【0269】さらに、ボイスメモを録音する場合には、録音ボタンを01Dを操作することで、図31の表示画面が表示されている期間内に録音を行うことができる。

【おそ】そして、図23のスケッチは表示モードにおいては、カーソルが十字クロス状の図形を持つて、前後方向と同一方向にスクロールすることになる。これにより、観察者の目視視線または目を軸にして、鏡像を制作する場合には、従来の制作の煩雑さは、表示モードの表示でカーソルの移動、画質のスクロール等の操作を可能にする。鏡の歪みや、制作時の歪みの修正や、画面表示の位置指定やスクロール板を良好に固定できるようにする面が、これに對しては極めて、スクロールの方向と同一方向

【010004】このように、時間軸の制御では、表示画面
上には、作動状態を指示した表示モードをその時間での時
間軸において表示モードの内容を連続的に表示することが
できる。これにより、連続した制御動作ととくに時間軸を
中心とした表示に換算できる。

【010005】また、モードは周期的にある時間軸上を停
留するもので、リセットモードとして活用するこ
とができる。さらに、制御動作の経過とそれに伴う
モード、状態と対応する表示、モードなどの周期的
な制御動作関係がわかりやすい。

【010006】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010007】また、時間軸のスタート位置（スタート、時
間軸の最初）を、日、月、時間等の時間、日時の境界
にスタートさせる。時間スタートと連続した表示色
の拡大縮小がある。スタートのスタート（最初、1時
時間（1時間（スケーリング））に合わせてスタートの表示

する時間を自動的に変化させる。

【010008】時間軸のスタート位置の拡大、縮小はスケー
リングに対応する。スタートはスタート（最初、1時
時間（1時間（スケーリング）））に合わせてスタートの表示
する時間を自動的に変化させる。スタートはスタート（最初、1時
時間（1時間（スケーリング）））に合わせてスタートの表示

する時間を自動的に変化させる。スタートはスタート（最初、1時
時間（1時間（スケーリング）））に合わせてスタートの表示

【010009】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010010】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010011】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010012】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010013】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010014】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010015】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010016】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010017】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010018】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010019】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010020】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010021】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010022】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

【010023】また、時間軸の表示、過去と未来とを表示
色（又は表示画面）で識別することができ、現在
の位置は、異なる表示色の境界で表現し、これにより、表
示の明瞭、視認性を、未来、現在が一目で分かる。

板の表示を可能にする。これにより、通信メール等の数がプロパティ等の項目の割合で視覚的に大まかに把握できる。尚、この横層の数は、ある一定の数を超えると寸数とする。

[illegible]

【0001】ボイズメモアイコン50は、既に作成したものであることから過去をより前面右下に動かして表示される。

【Q3:62】、プーンプボタン501Bの操作により、
ボイスメモアイコン550Qを選択してウィンドウを開く
と、図496Aに示すように、上方にメモを作成した(録
音した)日付、時刻、録音時間を表すバーグラフが表示

【0300】 下には、「再生」552A、「再生」552B、「時間軸移動」552Cといふ、この父に対する参照をアイコンで表示している。

【03:04】「シェーズ501」の押し、引きの望みのアイコンを反応させ、セレクト機能を見るズームインボタン501で処理を選択する。何の処理も行わない時は、キャンセル機能を見るズームアウトボタン502

イ(3005)「時間軸に移動」50200を渡成すると、ボイスメモアイコンが500Aがカーソルに描き入れられて点滅する。リユース501Aを回転させ、所望の時刻にドラッグによりアイコンを移動させ、リユース501A

【0000】ここで、ユーモイシバタン501-Bを選択
 すると下の画面が表示され、セレクトする時間と日付を確認し、
 アーラム音の音色、ビープ音、発光等の通知手段を
 選択した後、タイスメモアイロニ5500がスタート。

【0807】A: この告知手段は、ユーザの状態に応じた告知を行う第1の告知部、情報の内容に応じた告知を行う第2の告知部、知らせる重要度、緊急度に応じた告知を行う第3の告知部、を有しているかにより異なる。

可能としている。例えば眠っている状態に於いて、会議中は迷惑を掛けずに音ではなく、振動によってメールの着信を知らせる。着信の音はユーザーの名前で知らせる時、計、この発音知手帳として、着信により、告知する音や振動部、着信音の種類、振動型の種類、におい

発生部、光発生部、電気シロウを伴う電気発生部等が

逃げぬれぬ

・(B3/B4) ボイスタミを必要とする場合には、図4のタ
ンボロ1戸を伴すと、図4の人のようなウィンドウが開
き、壁がスタンバイになる。この状態で、ユーザーは建

音を扱うことが出来る。音声を記録すると、図4.8.4に示すように、「[RECORD]」画面で音が記録し、録音中の「[ON]」マークが点灯になり、録音経過時間がバーで表示される。しゃべるのをやめると、自動的に録音が終了し、次の下部メニューのウィンドウで図4.8.4が現れる。

【0500】このウィンドウでは、図420に示すように、録音した日付、時刻、録音時間が表示され、
 「消去」626C、「再生」626B、「時間軸」に移
 動」626Aという処理をメニュー501Aの押し割
 き、ポプアップメニュー501Bの操作により選択す

「E3110」デスクトップ又はノートPC、サーバーへの電子メールを送信すると、本技術規格2にもその旨の

情報通知がなされる。具体的には、図4-1Aに示すように、現在時刻の位置に電子メールアイコン560が自動的に置かれ、ズームインボタン5601Bの操作により、URGENT 561B、TR 9、V、P、1等のメールのタイプを表地を持つ下位メニューの

ライン561.0が表示され、当該ラインの561.0には、発行者の赤字A561.0と、メッセージ内色の黒約561.0が表示される。

「0311」この状態で、さらにメニューボタン561.0を押すと、図401Bに示す不透明ユーザ画面562.0

が表示され、ウィンドウの右上に受取時間、田村と宛持者の名前が表示される。下方のアイコンでこのメールに対する処理（印刷済み）は、印刷、印刷済み、移動、移動済みを選択する。【印刷済み移動】では、宛先にメールが転送されるようにすることができる。

「Q312」また、これらの各種アイコンは、時間軸上に自由に貼り付けることで、スケジュールの中に経時的に組み込むことができる。例えば図40Cの例では、時間軸の横軸はボイスレキダアイコン5500が描かれてい

【03:13】さらに、本例では、ボイスメモアイコン5.0、電子メールアイコン5.0は、入力時間、受信時間というように時間軸上に置かれるが、表示がされてい
る時間よりも過去にあるものは、スケジュール表示終了

下方に定められた直方内に表示されるキチツチ・リット・ラフ機能を示す。

キチツチ・リット・ラフは、電話線入線の切替直方である。リブモードの状態を示している。このリブモードになると、下方の現在時刻・リットを表示する機能が最大

16: またのように画面を使う。この部分には、パツパツ
リーベルの表示が追加される。尚、この部分を完全に
閉じる操作としても、スケジュール表示領域を例えば

図 10 図 9 の表示部に表示される画面の一例を示す概略図であ
る。

【図5の図例(A)～(G)は、図52(A)の表示値の表示部に表示される画面の一部を示す図例である。

【図5】: 同図(A)~(G)は、本発明に係る積層型情報処理装置とパーソナルコンピュータとでネットワークを構成し、データ同期化を行なう場合の例を示す要時図である。

【図57】図57は、従来の表示装置におけるカレンダー

一表示の画面構成の一例を示す概略図である。

【研究の証明】

2. 研究内容

100

22. 100%

2.3.7 表示部:

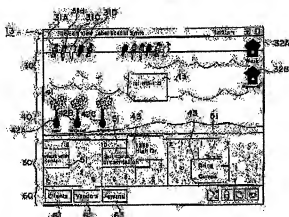
24. 张作霖

2000年12月

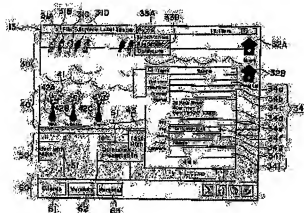
2000

2.2 音入

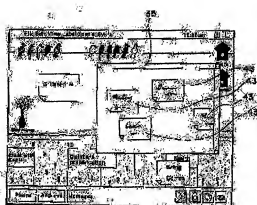
27-28/11

 Springer

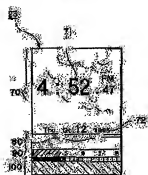
【圖2】



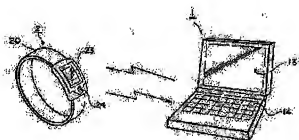
[FIG. 3]



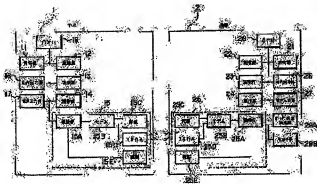
[FIG. 4]



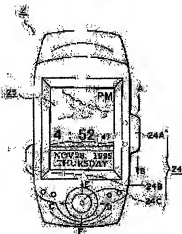
[FIG. 4]



(B)(2)



(B)(4)



(B)(5)

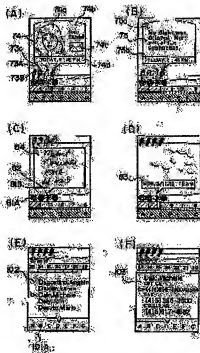
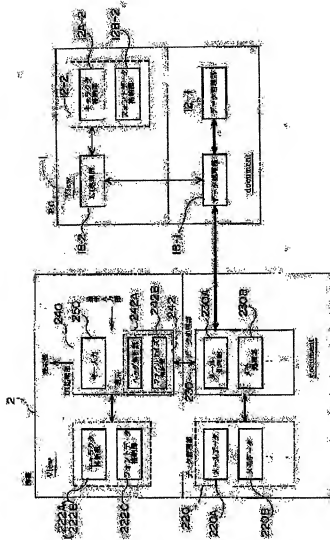


図11



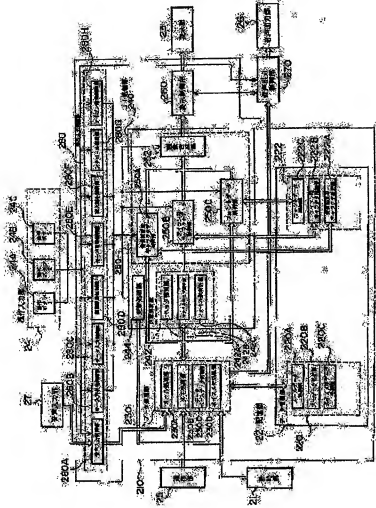


図 1-3

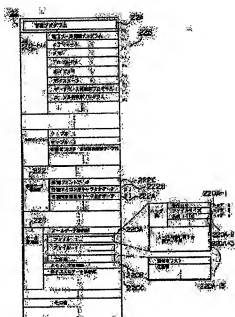


図 1-4

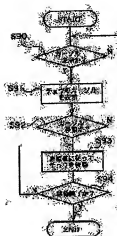
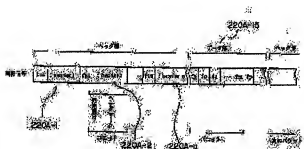


図 1-5



(圖 16)

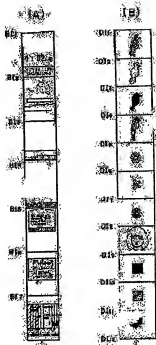
(A)

項目	内容	項目	内容
1	10	11	12
2	20	13	14
3	30	15	16
4	40	17	18
5	50	19	20
6	60	21	22
7	70	23	24
8	80	25	26
9	90	27	28
10	100	29	30

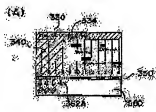
(B)

項目	内容	項目	内容
1	10	11	12
2	20	13	14
3	30	15	16
4	40	17	18
5	50	19	20
6	60	21	22
7	70	23	24
8	80	25	26
9	90	27	28
10	100	29	30

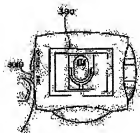
(圖 17)

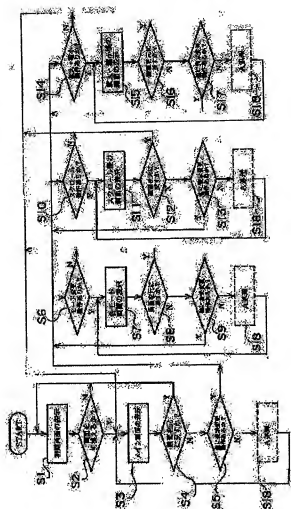


(圖 20)

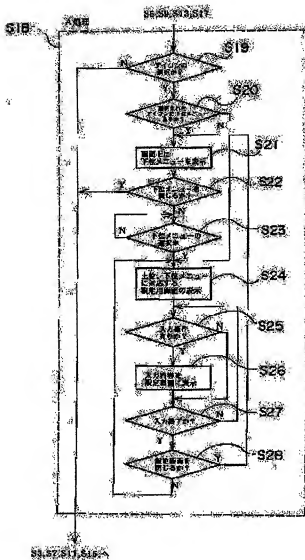


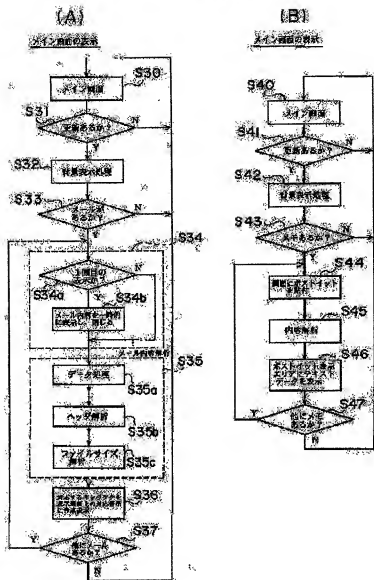
(圖 31)

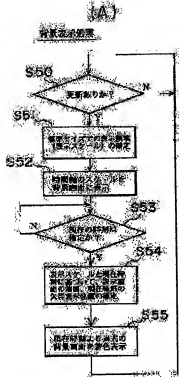




(図15)

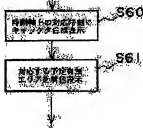




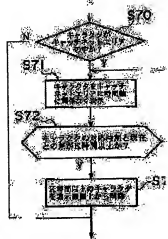


(B)

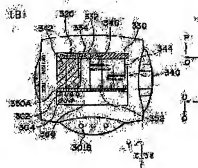
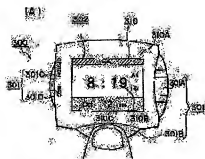
表示データが台帳データの更新処理



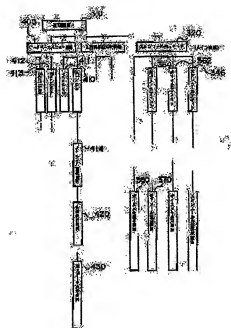
(C)



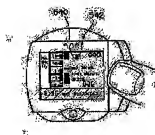
[FIG. 31]



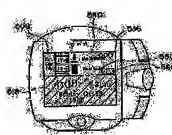
[FIG. 33]



[FIG. 35]



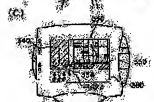
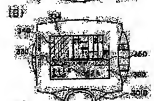
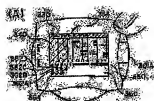
[FIG. 36]



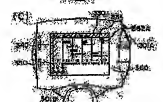
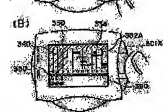
【圖 25】



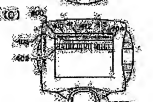
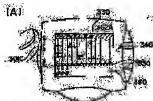
49274



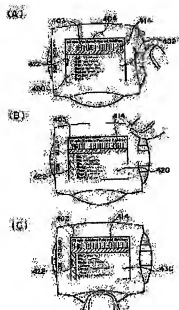
【圖2-8】



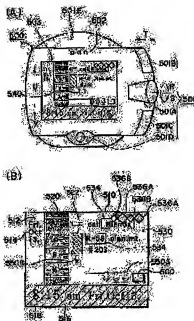
【圖 2-9】



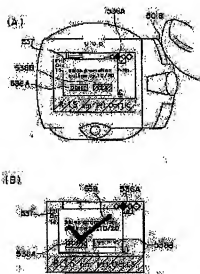
【図3-3】



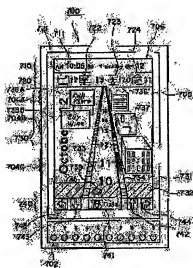
【図3-4】



【図3-5】



【図4-4】



(図32)

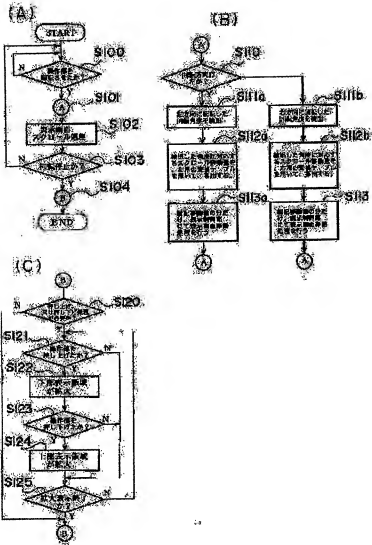


FIG. 6

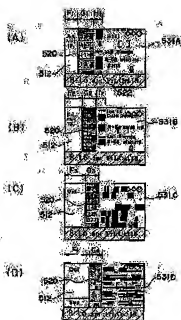


FIG. 7

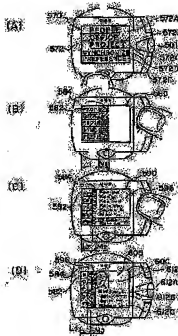


FIG. 8

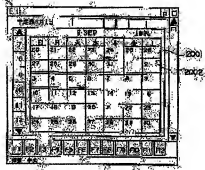


图 4-10

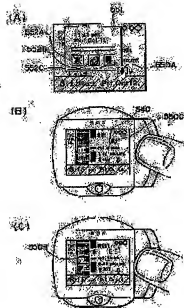


图 4-11

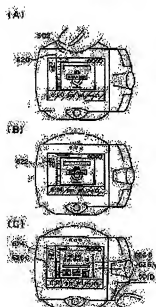


图 4-12

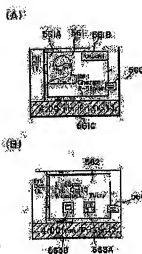
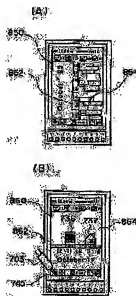
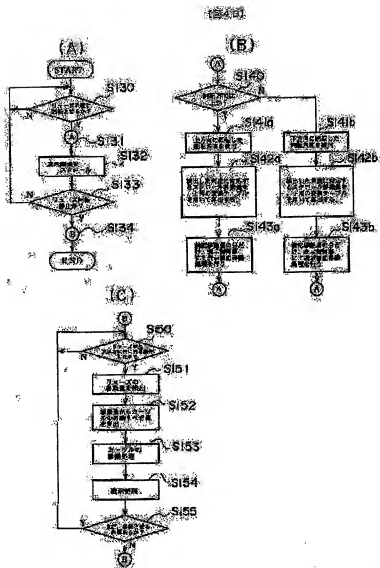


图 4-13





100-51

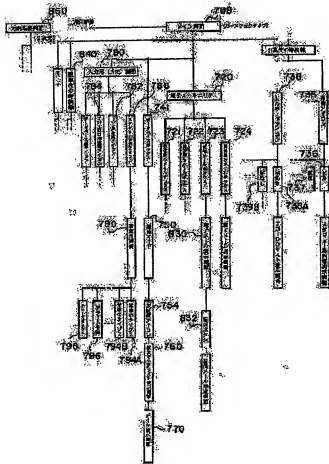


圖 4-21

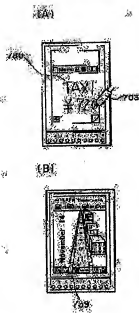
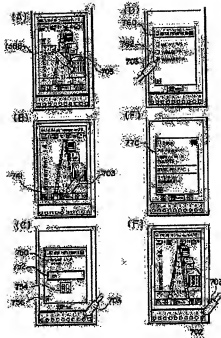
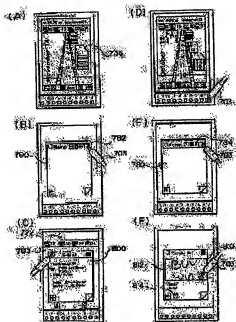


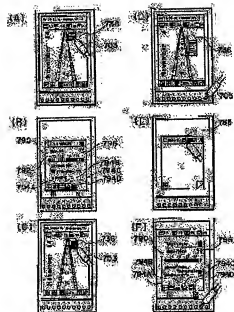
圖 4-22



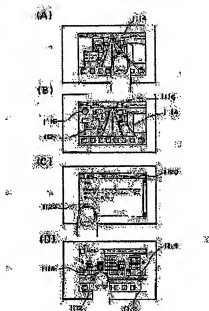
【圖49】



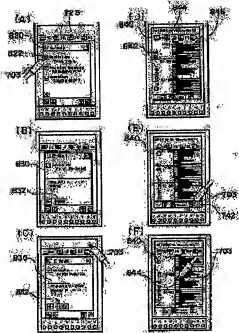
【例5-9】



[1533]



(FIG. 3)



(FIG. 4)

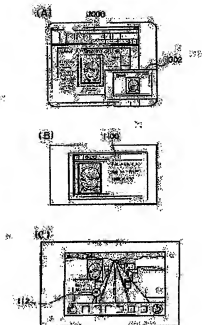


图 10-10

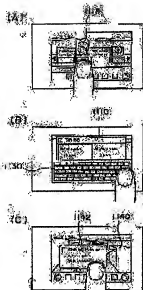
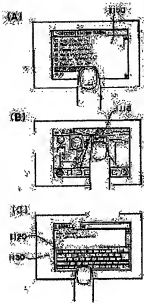
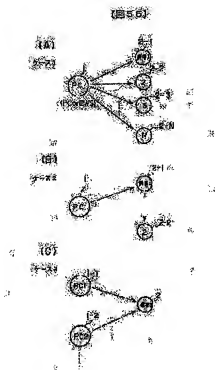


图 10-11





フロントページの続き

(72)発明者 (81) 富司

東京都港区南青山三丁目四番五号 セイコー
エレクトロニクス株式会社内

(72)発明者 ロイ、マクシム

1088, エムズ 第2エミュー クラウド ア
リソナルニヤ アメリカ合衆国 95125

プログラム(番号) 98019, 98008, 98013, 98016, 98004

98501, 98006, 98010, 98005, 98004, 98017

DAT'S ERI1: PA04: FAY1A: PA02:

FB04: FB25: FB28: